



ソヨゴ



サツマニシキ



御在所岳 紅葉


セグロ  
セキレイ


ホトトギス類



## 「リーディング産業展みえ2008」に今年も出展します

「リーディング産業展みえ2008」は今回で6回目となり、当事業団はうち4回出展し、毎回たくさんの皆様が当ブースにお立ち寄りいただき好評を得ています。

この産業展は、三重県の産業の強みを県内外の産業関係者や消費者の皆様へアピールすることにより、県経済の活性化に寄与するものです。

当事業団は、社会の豊かな環境づくりに貢献し、信頼され親しまれる公益法人を目指すとともに、環境関連業務（環境分析、コンサルタント、廃棄物処理等）のトップランナー、環境のコンダクターを目指し、日々努力を続けています。

事業団は、昨年同様「エネルギー・環境ゾーン」へブースを出展します。

当日は「ささやかなプレゼント」を用意して、たくさんの皆様のご来場を心からお待ちしています。



皆様のご来場を  
お待ちしております



### 1 開催日時

平成20年11月7日(金) 10:00～17:00  
平成20年11月8日(土) 10:00～16:00

### 2 開催場所

四日市ドーム 四日市市大字羽津甲5169番地（霞ヶ浦緑地内）

### 3 主な出展内容（予定）

「温泉分析」の展示・デモンストレーション  
「残留農薬分析（ポジティブリスト）」の分析方法等の展示・説明  
「水道水分析」の展示・デモンストレーション  
「環境関連全般」に関する相談コーナーの開設 等



## 統合審査をはじめます

品質マネジメントシステム（QMS）、環境マネジメントシステム（EMS）などの複数のマネジメントシステム規格に取り組む組織が増えてきています。それに伴い、既にQMS、EMSの両方のマネジメントシステム規格の認証取得をされた組織などから、審査を同時に行って欲しいなどのご要望を多くいただくようになりました。

ISCでは、このようなご要望にお答えすべく、統合審査を2008年10月から実施いたします。

### 統合審査とは

QMSとEMSを統合マネジメントシステムとして構築し、実施・維持している組織に対して審査をすることを「統合審査」といいます。

### 統合審査のメリット

- QMSとEMSの統合を図り、共通する内容は手順書などを一本化することにより、業務負担が軽減されます。
- 既にQMS及びEMSの認証を取得されている組織の場合、定期的を実施する審査を個別にそれぞれ1回/年、受審する必要がありますが、統

合審査を行うと、QMSとEMSが重なる部分を同時に審査するので、個別に受審するよりも、審査時間が短縮されます。

- QMSとEMSの統合状況によりですが、審査工数の低減が可能となり、個別に認証を取得するよりも、審査費用が低減されます。

### 統合審査を受審可能とするための前提条件

- 審査登録範囲となる「活動、製品及びサービス」が原則、QMSとEMSが同じである必要があります。
- 統合したマネジメントシステムを運営するための体制と手順を示した統合マニュアルを作成する必要があります。

統合審査の受審については、事前に審査登録範囲、統合マネジメントシステムの構築状況などを確認させていただきます。確認の結果によっては、統合審査を受審できない場合があります。

統合審査の内容について、ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC） tel 059-245-7514 fax 059-245-7524



## 三田最終処分場の現況報告

三田最終処分場は平成17年8月から11種類\*の産業廃棄物等を埋立てて3年が経過しました。この期間、企業や公共の産業廃棄物が搬入され、平成20年3月末で43.4万トン埋立てました。当初は埋立終了まで10年以上かかると想定していましたが、このままの受入量が続くと供用期間が短縮されることが予想されます。

埋立工法は、護岸堤防等で止水された海面を埋立てていくため、廃棄物投棄台船を使用していました。7月には、水面下の地盤高が一定となったため、今は全てブルドーザー等の重機を使用して埋立てています。

また、処分場内から発生する余水は排水処理施

設で処理して排水し、日常の監視に加え毎月水質分析を実施して、法律基準や地元との協定を遵守しています。結果は事業団のホームページに掲載しています。

三田最終処分場の開設当初と現在の状況は、下記の写真のとおりです。

\*燃えがら、汚でい、動植物性残渣（貝殻に限る）、鉍さい、ダスト類、廃プラスチック類、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず、令第13号



海面埋立等に使用した  
廃棄物投棄台船



旭防波堤からの埋立状況



三田護岸からの埋立状況



お問い合わせ先 廃棄物管理部 処分場管理課 tel 059-349-5016 fax 059-346-6500





## ふたたび、温泉分析のお知らせです

—可燃性天然ガス事故を防止し、「安心」「安全」「やすらぎ」のある温泉に—

最近の温泉ブームで、県内でも日帰りで気軽に行ける温泉施設が増えていますが、平成19年6月に東京都渋谷区の温泉施設において、温泉付随ガスの可燃性天然ガス（メタンガス）に起因する爆発事故が発生したことは、記憶に新しいところです。この事故は、営業（供用）開始後の温泉施設において起こった初めての爆発死亡事故となりました。

そこで環境省では、改正温泉法（以下「改正法」という。）により、温泉の掘削時や採取時における可燃性天然ガス等に対する安全対策を義務付けました。（※本法は平成19年11月30日に公布され、平成20年10月1日から施行されます。）

温泉水の汲み上げに伴い、すべての温泉施設でメタンを含む温泉付随ガスを湧出するわけではありません。そこで、改正法では温泉施設における

安全対策が必要か否かを判断するために、メタンガス濃度を測定することとしています。

当事業団は、温泉法の登録分析機関（「三重県知事登録 第二号」）として、温泉法に伴う可燃性天然ガス（メタンガス）の測定はもとより、温泉成分分析も実施しており、法改正に伴う動向に迅速かつ的確に対応させていただく体制を整えておりますので、「温泉分析」のことは何なりとお気軽にご相談下さい。



現地作業現場（可燃性ガス）



貯湯槽

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーダイヤル 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516



## 厚生労働省発表の水道水質検査精度管理調査において、最高の「S」評価機関に格付けされました

平成20年7月17日厚生労働省発表の平成19年度水道水質検査精度管理調査において、当事業団は、最高の「S」評価機関に格付けられました。

本精度管理調査は、毎年、厚生労働省より参加機関（登録水質検査機関）に対して検査対象物質を一定濃度に調製した統一試料が送付され、参加機関は統一試料の検査を実施し、その結果を厚生労働省に提出する方法で行われるものです。 ※評価ランクは、「S」「A」「B」「C」の4ランク

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーダイヤル 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516



栗の花



松阪市内で大矢職員撮影

葛山博次 著「万葉集の植物」より

「那賀の村（現、水戸市）のすぐ向かいにある曝井の泉が絶えず湧くように、ひっきりなしに通っていきたい、そこに妻がいてくれたらいいそうよいが。」と布を洗う女性を連想し、その女の姿に妻を重ね望郷の念にくれる男心がでています。

クリは全国各地の山野に自生する落葉樹で、シバグリともいいます。改良品種も多くでまわり、栽植されています。クリの名は実が黒褐色をしています、すなわち黒実からでたものです。万葉には三栗とでていますが一つのいがの中に実が三つあることをいっています。この名は古事記にもみられます。

三栗の那賀に向へる曝井の  
絶えず通はむそこに妻もが  
高橋虫麿歌集（巻九の一七四五）

万葉人の  
愛した草木  
その十六





## 平成20年度 ISO 研修参加者募集!!

### ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー〈2日間コース〉

**対 象** 新しい内部監査員の養成、ISOコンサルタントを目指す方 等

**内 容** 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ  
(チェックリスト、内部監査報告書の作成等)

**開催月日** 時間は、9:00～17:00

**開催場所** 財団法人 三重県環境保全事業団  
河芸社屋2階大会議室

#### ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成20年10月23日(木)・24日(金)	平成20年11月20日(木)・21日(金)
平成21年1月22日(木)・23日(金)	平成21年2月19日(木)・20日(金)

**定 員** 30名

**参加費** 42,000円/名  
(昼食付き、消費税含む)

#### ISO9001 内部監査員養成セミナー

平成20年12月11日(木)・12日(金)	平成21年3月12日(木)・13日(金)
-----------------------	----------------------

**お問い合わせ先** 調査部環境調査課 ISO研修担当  
tel 059-245-7503 fax 059-245-7519



## 工業高校の先生が来訪されました

8月7日、8日にわたり三重県下の工業高校の化学系学科の先生方(11名)が技術向上の研修のため、事業団を来訪されました。7日は四日市市の三田最終処分場と廃棄物処理センターの見学、8日は津市河芸町の社屋で環境アセスメントやビオトープ等の聴講の後、最新の分析機器等を見学されました。

先生方は、熱心に耳を傾けられ、特に三田最終処分場やガス化溶融処理施設を興味深く見学されていました。



## 珍 客 来 訪 !!

平成20年7月5日の夕方、事業団分析棟の玄関でタカの鋭い啼き声でしたので覗いてみると、オオタカが大きな獲物を驚ならぬ鷹づかみにして啼いていました。「誰にも獲物を渡してなるものか」と鋭い眼光で睨みつけています。来訪というより、やむなく場を借りたところでしょうか。この後、獲物が昇天したのを確認し、あっという間に飛び去って行きました。



ちなみに、オオタカは「三重県レッドデータブック2005」\*で絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定され、里山環境の変化に伴って個体数が減少している種とされています。

\*「三重県レッドデータブック2005」(最新版)は、「動物編」、「植物・キノコ編」各1冊2,500円(税込み)で環境調査課で発売しています。

#### ■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地  
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515  
フリーダイヤル ☎ 0120-0592-03  
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

#### ■廃棄物処理センター(溶融処理事業)

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1  
tel 059-328-8650 (代表) fax 059-328-8652

#### ■三田最終処分場(埋立処分事業)

〒510-0841 四日市市三田町9番地の地先  
tel 059-349-5016 (代表) fax 059-346-6500

#### ■小山リサイクルセンター(破碎処理)

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258  
tel 059-328-2567 (代表) fax 059-328-2967

●事業団へのご意見・ご希望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail: [mec@mec.or.jp](mailto:mec@mec.or.jp)